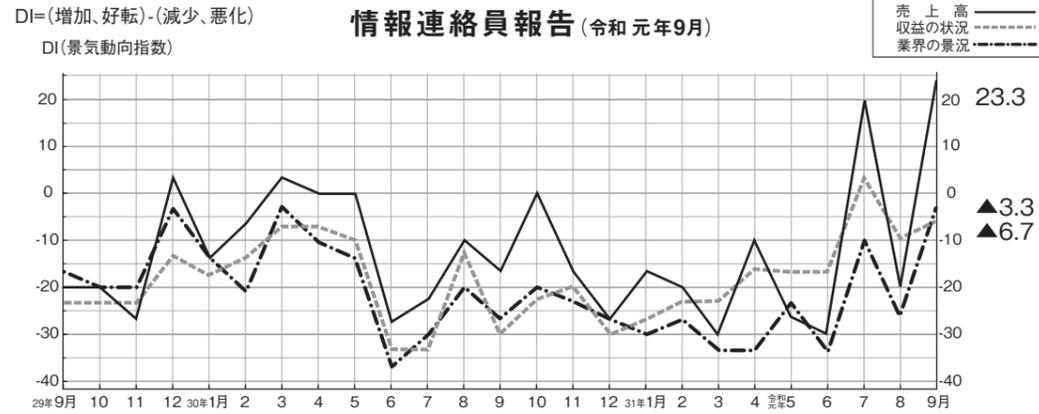


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年9月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不变 | ☁️...やや悪化 | ☔️...悪化

<p><b>食品団地</b></p> <p>10月からの消費税2%アップと最低賃金アップ等による生産コストの上昇が心配されている。県外の大手企業では、値上げ検討企業が増えており、今後の動向に注目している。</p>	<p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>前年同月比129%と伸びたが、需要の地域差が大きい。</p>
<p><b>酒類製造</b></p> <p>増税前の受注については特に目立った動きなし。増税後10月の動向に注視。</p>	<p><b>コンクリート製品</b></p> <p>出荷数量は前年同月比139%。市況は、減少状況が続いていたが、5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加に転じ、9月分も継続している。</p>
<p><b>テントシート</b></p> <p>各種材料費の値上りに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格に上手く転嫁できていない状況にある。消費税の増税による前倒し需要も特でない状況である。</p>	<p><b>機械団地</b></p> <p>売上高は対前年比で増加するも、仕入単価の上昇で相殺され収益増につながらないといった声がある。団地内の業況は横ばいで推移している。</p>
<p><b>木製品素材生産</b></p> <p>搬入量は、スギ・ヒノキともに2割程度の増。価格については、スギ・ヒノキ共に横ばいの状況。</p>	<p><b>刃物製造</b></p> <p>売上高は対前年比で増加するも、仕入単価の上昇で相殺され収益増につながらないといった声がある。団地内の業況は横ばいで推移している。</p>
<p><b>製材</b></p> <p>価格等市場も大きな変化無く、業況も不活発な状態が続いている。</p>	<p><b>船舶製造</b></p> <p>受注残の消化にて、操業度は高い水準で推移している。</p>
<p><b>製紙(家庭紙)</b></p> <p>家庭紙の9月稼働率は、順調に推移。工業用特殊紙、紙加工については、貿易摩擦等の影響を受け、停滞気味。</p>	<p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>9月度製品会取引高は、前年度同月比110%であった。業況は特に変化なし。</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>県内需要の官公需は低調。民需に関しては消費税増税駆け込み需要により徐々に好調。県外需要に関しては一部低調な部分もあるが駆け込み需要もありません。前月に引き続き昨年を若干上回った。</p>	<p><b>卸団地</b></p> <p>景気回復が感じられない中での消費税増税による、景気悪化が予想される。酒類に関しては増税前の売上増があったものの、食品業界全体では非常に苦しい状況が続いている。10月は一層苦しい状況が予想される。</p>

<p><b>青果卸売</b></p> <p>台風後の値上りも一時的だった為、販売価格も減少した。野菜はトマト入荷減の為、高値続き。葉物は入荷増で持合い~安価に変更の見込。果実は入荷変わらず持合い。消費税増税後の10月以後が心配である。</p>	<p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>特に問題なく消費税10%の日を迎えた。その後のトラブルの情報は入っていない。よさこい四万十(八幡宮大祭とコラボ)では30チームが参加し、今回初めて高校生ボランティアの自主的参加があった。</p>
<p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>全般的に入荷量が少なかった。カツオは8月以降より入荷が少ない。小物のシイラは漁も始まり、入荷量はあったが、毎月のように小売店舗等が減少し、単価が安い為買高には反映していない。</p>	<p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>2週続きのシルバーウィークは期間中多くの観光客を来県に導き、宿泊稼働率・業績も上昇した。また、イベントもあり、連休最終日も活発に稼働した。</p>
<p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>特に変わりはなく、小売店の売上げも横ばいである。10月からスタートの軽減税率制度に対して、早くから対応のレジにするなど対策をとるお店と、仕組みがわからないまま準備しないお店とまちまちだ。</p>	<p><b>飲食店</b></p> <p>10月からの消費税増税を控え、軽減税率対象事業所では新たな決済システムの購入等の出費があった。集客や売上は前年度同月と同程度、目立った変化はなかった。</p>
<p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>原油価格は、サウジアラビアの石油施設攻撃をきっかけとした供給不安と中東情勢の緊迫化で、2週続けて大幅に上昇。高知県の市況も3円ほど上昇した。10/1から、消費税上乗せ分として揮発油3円、軽油・灯油2円を値上げた。</p>	<p><b>旅行業</b></p> <p>組合クーポン前年同月対比71%、全旅クーポンを加味して56%。前年対比もついに割れる事態になっている。台風上陸の影響が主な要因と見ている。</p>
<p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>9月度は、全体で前年比158%、消費税駆け込み需要が大きかった。特に、白物・冷蔵庫・洗濯機は前年比180%、大画面テレビ140%であった。</p>	<p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比127.6%、前年同月比164.3%。公共工事請負金額は前年同月比135.4%、前年対比累計139.3%。R1/9末時点の発注者別前年対比累計では、国:118.6%、高知県:150.1%。</p>
<p><b>中古自動車小売</b></p> <p>増税前の影響か、売上台数は増加。ただ、中古業界全体の台数不足が続く中、仕入等は厳しい現状が続く。</p>	<p><b>電気工事</b></p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事は、前年同月比91.38%となった。高知中央・須崎地区が減少した。</p>
<p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>軽減税率・キャッシュレスについてのセミナーを開催。増税によるお客様の減少を防ぐために、キャッシュレス決済でのポイント還元など、個店の対策・努力が必要になっている。</p>	<p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>世界情勢の変化により原油価格が上昇、燃料価格にも影響が出て若干の値上げとなった。荷動きも低調なままで人手不足も解消できていない。</p>
<p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>中央公園地下駐車場利用状況(前年比)売上:97.7%、台数:前年比102.2%。消費税引き上げに伴うキャッシュレス化への対応等慌ただし月となった。月末開催の「高知大道芸フェス」は昨年以上の盛り上がりを見せた。</p>	<p><b>タクシー</b></p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:103.5%、輸送回数100.4%。当月の実働率は65%。</p>

## 挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company  
東京海上日動

